

# 奥州

お知らせ版

広報おうしゅう

2012  
Vol.72

2



1月9日に行われた市消防出初式

あなたも地域防災の要として活動してみませんか

## 市消防団員を募集

市は、年齢18歳以上で、市内に居住または勤務する健康な人を消防団員として募集しています。会社員や自営業者、学生、主婦など、さまざまな職種の人で構成されている消防団。消防団には、あなたの力が必要です。

消防団は、住民の生命と財産を守るため、災害発生時に消防署と一緒に災害対応に当たることが大きな役割です。昨年の東日本大震災では、被害状況の把握、危険箇所の警戒や夜間巡回など、私たち市民の安全を確保するため、大きな力を発揮。停電で電話

### 市消防団の概要

も通じなかったため、無線が無い避難所への連絡を消防団無線が担うなど、その活動は幅広く、市民の生活を守るために尽力しました。平常時には、火災を防ぐ活動として、火防点検、夜間警戒などを展開しています。

奥州市消防団は平成22年4月1日、自治区ごとにあった消防団が統合して発足しました。現在は、36分団に1955人の団員が在籍し、平均年齢は44・5歳。そのうち女性は60人で、97割を男性が占めています。また、ポンプ車など272台の消防機械を装備。団員の中から、水難救助隊、喇叭隊、

纏隊、梯子隊、音楽隊なども編成して活動しています。

### 消防団員の身分

団員の身分は、市の条例で定められる「非常勤特別職（公務員）」です。報酬は役職によって異なりますが、団員は年額で3万6000円。出勤手当は、1回につき1500円が支給されます。

活動に必要な活動服や長靴などが貸与されるほか、公務災害補償、退職報償金などの制度があります。

### 消防団員になろう

市民の暮らしを守り、いざというときに防災・減災の要となる消防団。市はあなたの入団をお待ちしています。入団の手続きなど、詳しくはお問い合わせください。

■問い合わせ 本庁消防防災課 消防係（内線217）

春の火災予防運動週間

「消したはず」  
決めつけしないで  
もう一度

春は火災が起きやすく、広がりやすい季節です。尊い命を守るためにも、火の取り扱いに注意して、普段の防火対策をもう一度点検してみましょう。

野焼きや火入れは、実施前に消防署へ連絡が必要です。強風の日を避けて、消火の準備をしてから行ってください。火が消えるまでその場を離れず、確実に見届けましょう。

消防団と婦人消防協力会では、春の火災予防運動の一環として、各家庭の火防点検などを実施します。

また、春の火災予防運動週間である3月1日から7日は、午後8時に市内一斉にサイレンを吹鳴します。